

## PROGRAM NOTE

2011

### 近藤譲：テニスン歌集

ピアノ独奏のための

### Tennyson Songbook

for solo Piano

この作品は、イギリスのバーミンガム現代音楽グループの委嘱を受けて昨年末に作曲したソプラノと7楽器のための《テニスンが詠った歌三篇》Three Songs Tennyson Sung のピアノ独奏版である。原曲は、19世紀イギリスの桂冠詩人アルフレッド・テニスン卿の長編詩『王女』The Princess の中に鏤められている「歌」canto を歌詞とする作品で、短い器楽の「前口上」Avant-propos と、3つの歌（'Sweet and low', 'Ask me no more', 'The splendour falls'）から成っている。

私の1990年以前のピアノ曲の多く、そして、今夜の演奏曲の中の《早春に》は、元々ピアノ以外の媒体のために書かれた曲のピアノ版だが、私はこの《テニスン歌集》で、再びそのようなピアノ曲の可能性を試みたいと思った。というのも、このような作曲プロセスは、最初からピアノのために作曲する場合とは異なったピアノ書法を齎すことがあるからである。このピアノ曲は、「序」に続いて、3つの「歌」から成り立っており、第1歌は「子守唄」Lullaby、第3歌は「牧歌」Idyllという副題を持っている。この曲は、原曲の構造をほぼそのまま保っているが、とはいえ、原曲との繋がりに捉われずに抽象的な器楽の歌として聴かれることを前提としている。

近藤譲

初演：2011年3月27日(東京)

初演者：井上郷子(ピアノ)

委嘱：井上郷子

出版：University of York Music Press (UK)

演奏時間：12分